

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
 TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
 〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

新年あけましておめでとうございます。
 皆様には新しい年を、つつがなく迎えられたこととお慶び申し上げます。
 中核センター事業も平成16年10月に開始されて早くも9年を迎えます。
 新たな国の相談体制の施策も示されていますが、生きにくさや暮らしの様々な問題等、様々なニーズに対応出来るようスタッフ一同気持ちを新たにしています。
 一層のご支援をよろしくお願いいたします。

所長 相馬 伸男



新しい年を迎え「巳」という字を調べてみました。巳の特徴は探究心と情熱。今まで以上に探究心を忘れず、情熱を持って仕事に励みます。それから恩を忘れず、恩返しをする年にしたいと思います。一年の計は元旦にあり、今年もよろしくお願い申し上げます。

地域総合コーディネーター 金城 和子

年々体重が増加しています。体重増加とは反比例してフィットワークは軽く行きたいです。
 躍進の年でありますように。

コーディネーター
五十嵐 孝子

家族が増えたり、親の介護で帰省したり、1年があっという間に過ぎました。
 地域の方に心を寄せる支援ができるように頑張ります。

相談員 竹繁 和子



たくさんの笑顔が増えるように心がけ、明るく元気に電話対応します。
 地域活動もパワフルに頑張ります。

相談員 五月女 真美

昨年の9月24日に入職しまして、あっという間の3ヶ月でした。色々な事を新たに学んだ年でもありました。
 本年も頑張りますので皆様、宜しくお願い致します。

相談員 中村 成彦

昨年は地域づくりの面白さややりがいを感じた1年でした。今年も昨年以上に明るく元気に活動していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。
 ホームズもみてください！！！！！！

障害者グループホーム等支援ワーカー
澤田 安識

中核地域生活支援センターに係る意見交換会について

平成24年12月18日(火)に野田市(社会福祉課、高齢者福祉課、児童家庭課、保健センター)と千葉県(健康福祉指導課調整指導室)と中核センターのだネットにて意見交換が行われました。

はじめに中核センター機能の普及と「生活支援戦略」について健康福祉指導課の方から説明があり、中核センターからも活動状況を報告した後、意見交換が行われました。

中核センター事業とパーソナル・サポートサービス・モデル事業(生活支援戦略のモデル事業へ移行?)が酷似しているため、今後は「生活支援戦略」の動向を見ながら中核センター機能について考えて行く必要があることを確認しました。

「生活支援戦略」とは…

生活支援戦略では、生活困窮者が経済的困窮と社会的孤立から脱却するとともに、親から子へ「貧困の連鎖」を防止することを促進します。国民一人ひとりが「参加と自立」を基本としつつ、社会的に包摂される社会の実現を目指すとともに、各人の多様な能力開発とその向上を図り、活力ある社会経済を構築することを目標としています。生活保護制度については、必要な人には支援をするという基本的な考えを維持しつつ、給付の適正化を推進する等によって、国民の信頼に応えた制度の確立を目指しています。

現在、国で検討されている「生活支援戦略」の主な論点は以下の通りです。

I 新たな生活困窮者支援体系に関する論点

1. 総合的な相談と「包括的」かつ「伴走型」の支援
2. 就労支援の強化
3. 家計再建に向けた支援の強化
4. 住居の確保
5. 「貧困の連鎖」防止のための取り組み
6. 地域における計画的な基盤の整備

II 生活保護制度の見直しに関する論点

1. 切れ目ない就労・自立支援とインセンティブの強化
2. 健康・生活面等ライフスタイルの改善支援
3. 医療扶助の適正化
4. 不正・不適正受給対策
5. 地方自治体の負担軽減



のだネット活動報告

□平成24年4月～12月の相談件数 6,822件(実人数1,138人)、新規163件

□対象別

高齢者	548件
障がい者	4,573件
児童	1,070件
その他	631件

□相談方法

電話	4,490件
来所	316件
訪問	2,016件

□相談時間帯

0時～6時	23件
6時～9時	647件
9時～17時	4,792件
17時～21時	1,265件
21時～24時	95件



ゲートキーパー研修(自殺対策研修)会に参加して

「ゲートキーパー」という言葉をご存知でしょうか？自殺対策におけるゲートキーパーの役割は、社会心理上の問題や生活上の問題、健康上の問題を抱えている人や、自殺の危険を抱えた人に気づき適切に関わることです。昨年11月～12月にかけて3回にわたって開催された、野田健康福祉センター主催の研修会に参加しました。

第1回目は「悩んでいる人にどう向き合うか～日頃の対応を見直そう～」をテーマに、自殺対策とゲートキーパーの役割についての講義の後、DVDを用いて悪い対応の例と良い対応の例を実際に2人1組になってロールプレイを行いました。

第2回目はVAICコミュニティケア研究所の田中氏より「生活経済問題(多重債務)への対応から学ぶ」をテーマに講義がありました。実際の事例も紹介して頂き、多重債務の問題は解決の道が必ずあることを強調されていました。

第3回目は「メンタルヘルスの基礎知識～心の不調のサインを理解しよう～」がテーマでした。企業を舞台にして様々な心の病の病気のサインと対応についてわかりやすくまとめてあるDVDを視聴しました。

職員のスキルアップはもちろんのこと、一般の方々にも広く知って頂きたい内容ばかりでした。

(記:五十嵐)



趣味の部屋



昨年「趣味の部屋」を始めて、皆さんの作品を掲載してきました。地域活動支援センター等に伺っても手作りの作品に触れる機会があり、その完成度の高さに驚かされました。

多くの人にその作品を見てもらいたいと思い作品展を企画しました。今回は精神障害者地域移行支援事業の地域交流の一環として開催しますので心の病の経験者を対象としました。

こころの作品展

【応募方法】

◇募集内容:絵、詩、俳句、手作品等

◇対象者:野田市在住、在勤の心の病や障がいの経験者

◇方法:A3サイズ以下のもの。作品かメモに氏名(匿名・ペンネーム可)と連絡先を明記して下さい。のだネットにご持参頂くか、連絡をいただければ取りに伺います。

◇応募締切:平成25年3月8日(金)

◇展示日程:平成25年3月14日(木)～15日(金) 10時～14時

北コミュニティセンター1階 喫茶「四つ葉のクローバー」内

◇応募上の注意:作品は展示終了後返却いたします。展示中、破損がないように注意致しますが、万が一破損した場合はご了承下さい。また、会場に限りがありますので作品の集まり状況でお断りする場合があります。